

一般質問発言通告書

議席番号 22 番

氏名 牛尾 昭

答弁を求めるもの 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 水産業振興の要の漁船漁業等について

(1) 船団への事業承継について

8月15日に底引き網漁船3ヶ統が出漁した。前期より1ヶ統減で、水揚げ減が心配される。また、1ヶ統が帰りに事故を起こしたので、心配である。3ヶ統になり、鮮魚や加工原魚不足を業者が心配している。そこで伺うが、撤退した船団に事業承継の話はないのか。市として動かれていると思うが、現状を問う。

(2) 新船建造について

現船団3ヶ統の内、2ヶ統は新船に移行したが、残りの1ヶ統についての予定はどうか問う。

(3) 誘致企業への支援策の申送りについて

(株)三陽は、自社の船を直接接岸されると聞いている。市長が代わる事で、誘致の条件が変更されては困るが、どの様に担保され、申送りされようとしているのか問う。

2 水田農業について

(1) 来年度廃止になる集落機能加算について

昨年の国会で、我が党の石破総理は「農地や農家の減少は国が減ぶ道だ」と述べたが、中山間地域に及ぼす影響を問う。

(2) 乾田直播について

高温少雨やダム渇水など、天候異変が世界に広がっている。食料安保のためには、多様な水稻栽培方法が求められる。政府は2027年度に、乾田直播に対して補助金による普及支援をするそうである。浜田市も取り組むべきと思うが見解を問う。

(3) 今年度の小規模農家支援策について

農家を歩くと有難いという声をよく聞く。その中で、親子で水稻栽培をしているが、息子は若い、田んぼが親の名義なので支援策の上乗せを受けられない。今年は、耕作面積を増やしたいのだが、何とかならないかという相談があったが見解を問う。

3 道の駅ゆうひパーク浜田について

先般、プレゼンの説明を受けたが、入口のインフォメーションをなくして、コンビニを配置するなど、産業建設委員会の総意と相反している。また、夕日百選を生かしたアイデアもなく市民の意見を無視している。市への納付金についても少額で話にならない。プロポーザル審査の整合性を問う。

発言No. 2

受付No. 10

令和 7 年 8 月 22 日

10 時 44 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 1 番

氏名 肥後 孝俊

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

奇しくも私の任期は「第 2 次浜田市総合振興計画 後期基本計画」の期間と重なり、この計画は「若者が暮らしたいまちづくり」を最重要の柱に据え、人口減少問題に対応すると宣言された。検証を踏まえ、以下質問する。

1. 人口減少対策について

若者定住につながる一手として、市内での雇用が維持できなければならないとの思いで以下質問する。

- ① 若者定住対策の現状について伺う。
- ② 若者定住につながる市内での雇用対策について伺う。

2. 産業振興策について

- ① 浜田港の老朽化した燃料給油船の現状について伺う。
- ② 令和 6 年 3 月定例会議で「指定野菜に 50 年ぶりに追加されたブロッコリーの市内生産量の現状と今後」について伺ったが、その後の生産状況について伺う。

3. 共に生きる社会の実現に向けた地域福祉の推進について

本市には「島根あさひ社会復帰促進センター」という、全国でも先進的な官民協働の施設が存在する。このセンターは、単なる刑事施設ではなく「地域との共生」を基本方針に掲げている。現状を把握するため以下質問する。

- ① 島根あさひ社会復帰促進センターとの現在の連携状況について伺う。
- ② 知的・発達障がい等を抱える人向けの福祉的支援の網から外れる方が再犯につながらないような支援について伺う。

一般質問発言通告書

議席番号 7 番

氏名 村武 まゆみ

答弁を求める者
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 浜田市こども計画について

策定された浜田市こども計画の中にある具体的な施策の進捗について伺う。

(1) こどもの権利について

- ① こどもの権利の取組について、まずは市職員を対象に庁内研修を行うということで、R7年3月定例会議一般質問の際の答弁で、基本的な研修を実施し、こどもの権利について理解が深まったという職員もいたということだった。その後の職員を対象にしたこどもの権利についての研修の実施について伺う。
- ② こどもの権利意識普及啓発について、こどもの権利に関する理解を深めるための取組を行うとある。進捗状況について伺う。
- ③ こどもの権利条例策定についての検討を行うとあるが、現状について伺う。
- ④ こどもの意見を聴くための体制の構築に向けた取組を行うとあるが、現状について伺う。

(2) 乳幼児期の育ちについて

- ① こども計画には、子どもの育ちの中で、愛着の形成と豊かな遊びの体験が重要であり、これらが生涯にわたるウェルビーイング向上の土台をつくるとある。そのためにも子育て講演会や講習会など保護者等の学びは非常に大切である。子育て支援センターにて実施しているが、現状について伺う。
- ② 幼児教育センターは今年で3年目となった。3年目の取組について伺う。
- ③ 障がい児保育の充実について、保育施設に対して支援を行い、充実に努めるとあるが、現状について伺う。

(3) こどもの居場所について

- ① 放課後児童クラブの充実について、質の向上の観点から民間委託を進めるとあるが、今後の計画について伺う。
- ② 地域全体でこどもの視点に立った多様な居場所づくりが行われるために、地域におけるこどもの居場所づくりの支援体制の構築等に必要なこどもの居場所づくりコーディネーターの配置を検討するとあるが、検討状況について伺う。

以上

発言No. 4

受付No. 3

令和7年8月21日

9時16分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 14 番

氏名 布施 賢司

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1：石見神楽の伝承と企業支援の可能性

(1) 市長が任期中に石見神楽を見てきた課題と評価について

- ① 市長はこれまでの任期中の中で、石見神楽という文化の意義、そしてその継承において直面された課題をどう思われているのか、総括的な認識を伺う。

(2) 企業・団体による支援の可能性について

- ① 近年、地域文化を持続可能な形で支えるために、行政だけでなく企業や団体の力を活用する動きが全国各地でみられる。例えば宮崎県では「神楽サポーター制度」という枠組みの中で、企業が休暇制度を活用して神楽を支援したり、資金や人材を提供して地域行事を継続可能にする取組が進められている。この先進地での取組について所見を伺う。
- ② 本市においても、石見神楽を支える企業や団体との連携を、より積極的に仕組み化する必要があると考えるが、市長は企業・団体がこの地域文化を支える主体として関わることへの意義、そしてその必要性について、どのように考えているか、所見を伺う。

(3) 行政による今後の継続的な支援体制について

- ① 今後の市政において、石見神楽の伝承を支援する行政の体制整備、そして企業・団体と連携した新たな制度設計の必要性について、市長として考えがあれば、ぜひ後任への引継や提言という形でお聞かせ願う。

一般質問発言通告書

議席番号 9 番

氏名 柳楽 真智子

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 行政の情報発信について

(1) デジタルの活用について

- ①現在、浜田市では市民への情報発信をどのように行われているか問う。
- ②行政の情報発信にデジタルを活用することのメリット・デメリットについて問う。
- ③浜田市でも公式LINEによる情報発信を行っているが、テーマ別に複数の公式アカウントで運用されている。1つに統合しない理由を問う。
- ④これまでデジタル活用によるアンケート調査の実施は行われたか問う。

(2) 紙媒体の活用について

- ①デジタルの活用が難しい人にとっては、紙媒体も必要である。紙媒体の場合、情報の更新が即時には行えない。この問題への対応はどのように行われているのか。
- ②デジタルと紙媒体の情報発信に係るコストについて問う。

2. 石見神楽の振興について

(1) 大阪・関西万博石見神楽公演の生かし方について

- ①公演後の見送りの際にも観覧者から、浜田のどこで見られるのか、ホテルはあるのか、他の観光は何かあるのかなどの問合せがあった。興味を持っていただいたということである。大阪・関西万博石見神楽公演から2か月半が経過したが、大盛況だったこの公演の影響を生かすため、どのように取り組んでいるのか問う。

(2) 石見神楽の文化財指定について

- ①現在、石見神楽の文化財指定の状況を問う。
- ②浜田市が発祥の地と言われている石見神楽そのものが、文化財指定されていない理由を問う。
- ③文化財指定を受けることで得られるメリットについて問う。
- ④石見神楽の振興に市・県・国の文化財指定は必要と考える。将来、ユネスコ無形文化遺産登録を視野に入れるためにも、それぞれの指定に向けて取組を進める考えがあるのか問う。

発言No. 6

受付No. 8

令和7年8月22日

10時28分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 20 番

氏名 西田清久

答弁を求める者 ☒ 市長 ☐ 教育長 ☐ 監査委員 ☐ 選挙管理委員会委員長
(○をつける) ☐ 農業委員会会長 ☐ 固定資産評価審査委員会委員長 ☐ 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 久保田市政12年間の振り返りと浜田市の目指す未来像について

- ① 久保田市長就任時、人口減少対策を最重要課題に挙げられていた。
あらゆる手を打って来られたが、振り返っての所見を伺う。
- ② 浜田市の産業振興にも注力されたが、将来的に伸びしろが期待できる産業分野について市長の所見を伺う。
- ③ 少子化が進む中で、若手人材は貴重な財産である。
地方公務員のみならず、様々な分野の職場環境においても若手人材の離職率が増加傾向にある。その主な要因について市長の所見を伺う。